

Community Social Work Seminar 2021

コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修

[基礎編 STEP 1]

コミュニティソーシャルワークとは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民活動の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践です。

日本地域福祉研究所は1994年に設立後、全国各地の地域福祉実践に関するコンサルテーションや人材養成に取り組む中で、2004年よりコミュニティソーシャルワーク実践を担う人材養成プログラムを独自に開発し実施してきました。この研修の目的は、2008年3月の厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」で提言されている「地域福祉のコーディネーター」の養成と重なるものであり、住民や多職種によるネットワーク形成や社会資源の開発等、これからの地域福祉推進に不可欠な技法の修得・向上を目指すものです。今日では、包括的支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業の中核を担う専門職としてコミュニティソーシャルワーカーが期待されています。

こうした社会的要請に対応すべく、この度、全国の方々を対象とした第18期研修を開催致しますので、地域生活支援に関わる人材養成・スキルアップの機会としてご活用頂きたくご案内申し上げます。

○日 程：2021年11月13日(土)～14日(日)

※ Zoomによるオンライン研修

○受講資格：地域福祉実践に関連する実務経験3年以上20年未満の方

(保健福祉関係行政機関、社会福祉協議会、各領域支援センター、社会福祉施設、NPO等の実践者)

○基本受講料：一般17,000円(所員16,000円) ※STEP2受講料は別途必要となります。

※本研修の基本受講料に含まれているテキストは、①『コミュニティソーシャルワークの新たな展開』

(中央法規)、②『CSW研修ワークシート』(日本地域福祉研究所)となります。

この内、①を既にお持ちの方は、基本受講料から3,000円引きとなります。

○定員：50名(先着順)

○主催：特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

○後援(予定)：公益社団法人日本社会福祉士会 公益社団法人日本精神保健福祉士協会

公益社団法人日本医療社会福祉協会 日本地域福祉学会

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

一般社団法人日本介護支援専門員協会 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会

■本研修の特色

①受講者自身の業務を通してコミュニティソーシャルワークの基礎的な技法を修得することを目的とした4日間のステップアップ講座です。

②STEP1は基礎的な知識や技法の学習、STEP2は各自の事例に基づいたコンサルテーションを行います。

③研修は事例をもとにしたワークショップ方式で進め、研修効果を高める事前学習の課題があります。

※STEP2日程 2022年2月19日(土)～20日(日) 後日に別途お申し込みが必要となります。

■申込方法

①日本地域福祉研究所のホームページから受講申し込みフォームに入力してください。

申込締切 2021年10月29日(金)

②受講が決定した方には決定通知書、テキスト、事前課題、Zoom研修受講案内等を送付致します。

事前課題は研修初日までに作成しておいてください。

<全体スケジュール>

11月13日 (土)	9:30~	10:00	10:20~11:50		12:50~14:50		15:00~17:00
	Zoom 入室	開 会	講 義	昼 食	ワークショップ① 個別アセスメントと 個別支援	休 憩	ワークショップ② 地域アセスメントと 地域支援Ⅰ

11月14日 (日)	9:00~	9:30~11:50		12:50~15:00		15:10~16:20	16:20
	Zoom 入室	ワークショップ③ 地域アセスメントと 地域支援Ⅱ	昼 食	ワークショップ④ 地域アセスメントと 地域支援Ⅲ	休 憩	総括講義	閉 会

1日目(11月13日)

Zoom入室

<9:30~>

開 会

<10:00~10:20>

講 義

<10:20~11:50>

「コミュニティソーシャルワークの視点と方法」

昼 食

<11:50~12:50>

ワークショップ①

<12:50~14:50>

「CSWにおける個別アセスメントと個別支援」

専門職のアセスメント力はアセスメントシートに頼り過ぎると弱まりかねない。このワークショップでは事例を通して気づきを促す研修方法により「家族全体」を捉える視点を養い、その上で「生活の全体性」や「ストレス」に配慮しながら「その人らしさ」に着目した支援計画に結びつけていくための個別アセスメントと個別支援の技法を学ぶ。

ワークショップ②

<15:00~17:00>

「CSWにおける地域アセスメントと地域支援Ⅰ」

コミュニティソーシャルワークにおける地域支援は、個別ニーズに対応するためのものである。このワークショップでは、地域の捉え方や地域データの把握・分析など、地域アセスメントの基本的技法と地域へのアプローチ方法を学んだ上で、個別事例から地域に埋もれた社会資源の活用や開発の必要性を見いだす視点と方法を学ぶ。

2日目（11月14日）

Zoom入室 <9:00~>

ワークショップ③ <9:30~11:50>

「CSWにおける地域アセスメントと地域支援Ⅱ」

コミュニティソーシャルワークでは、個別ニーズを地域ニーズとして捉える視点が重要となる。このワークショップでは、専門職が向き合っている個別ニーズが、地域の中においてその人や家族だけニーズなのか、同様なニーズを持つ人々が他にもいるのかを検証していくための方法やそのニーズを地域内で共有していく方法を学ぶ。

昼食 <11:50~12:50>

ワークショップ④ <12:50~14:50>

「CSWにおける地域アセスメントと地域支援Ⅲ」

このワークショップでは、個別アセスメントと地域アセスメントの統合によって個別支援と地域支援を結びつける視点を養い、個別ニーズに即した地域へのアプローチによって新たな社会資源を開発していくプロセスを学び、実践仮説に基づいたコミュニティソーシャルワーク実践のプランニング技法を学ぶ。

総括 <15:00~16:20>

講義 「コミュニティソーシャルワークの展開に向けて」

閉会 <16:20~16:30>

STEP 2のご案内

期 日 : 2022年2月19日（土）～20日（日） ※STEP1と同じ時間帯を予定

方 法 : Zoomによるオンライン研修

内 容 : ①実践分析 ②グループコンサルテーション（受講者の事例を基に）

③ネットワーク会議の開催（ロールプレイ） ④総括講演 ⑤修了証授与

そ の 他 : ・STEP2のお申込みに関する事などは別途ご案内致します。

・STEP2ではご自身が関わっている事例について事前提出がございます。

《 講師陣紹介 》

全国研修の他、各地の都道府県や市区町村のCSW研修を行っています。

大橋 謙策 (日本地域福祉研究所)	宮城 孝 (法政大学)
田中 英樹 (東京通信大学)	小野 敏明 (日本地域福祉研究所)
高橋 信幸 (日本地域福祉研究所)	國光登志子 (日本地域福祉研究所)
青山登志夫 (日本地域福祉研究所)	原田 正樹 (日本福祉大学)
神山 裕美 (大正大学)	木戸 宜子 (日本社会事業大学)
中島 修 (文京学院大学)	菱沼 幹男 (日本社会事業大学)

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-27 ロリエ市ヶ谷3F (担当：山崎禎広)

TEL:03-5225-0237 FAX:03-5225-0238

E-mail: jicsw@mx8.alpha-web.ne.jp

※お問い合わせは、Eメールにてお願い致します。

地域福祉と社会教育の融合による「コミュニティソーシャルワークの展開」を目指して



特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

日本地域福祉研究所では、1993年12月の創立より、全国各地で草の根の地域福祉実践をしている職員を支援し、必要な情報提供を行い、その実践の整理・理論化を推進するという設立の精神を使命として、各種の事業を行っています。

- 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定コンサルテーション事業
- 地域福祉実践研究セミナーの開催(毎年8月)
- 雑誌「コミュニティソーシャルワーク」の発行(年2回)
- コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修の開催
- 地域福祉公開研究セミナーの開催(毎年5月・12月)
- コミュニティソーシャルワーク・フロンティア講座
- 健康・生活支援ノートの開発

研究所所員募集中!!

詳しくはコチラから

日本地域福祉研究所

検索

<http://www.jicw.jp>